市政に関する一般質問

今定例会では、２２名の議員が一般質問を行いました。

一般質問の表題

会派名　議員氏名　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者※

（答弁の要約）

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

質問　通告事項の要約

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
図書館等、議会ホームページで11月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

公明党奥貫真紀　1

若者等有権者の投票率向上

問　若者をはじめとする有権者の投票率向上に市内の大学や商業施設内の期日前投票所設置が効果的だと考えるが、市はどのように考えているのか。

答　選挙管理委員会事務局長　大学内での設置は、若年層の政治参加を促し投票に結びつけるための啓発効果が期待でき、商業施設では、気軽に投票に行ける利点がある。

その一方で、投票所設置にあたり、ネットワーク整備やプライバシーを確保できる環境対策、混雑対策などの課題もある。

現在、商業施設に隣接したウェスタ川越内南公民館に投票所を設置しており、大学及び他の施設についても引続き検討していく。

質問　有権者の投票率向上

質問　地域包括ケア病棟

やまぶき会　小高浩行　2

児童生徒のスマホ使用制限

問　児童生徒のスマートフォン等の使用時間制限を学校や家庭及び地域の運動として拡大するようＰＴＡ連合会等の団体に問題提起が可能か伺う。

答　学校教育部長　教育委員会としては、川越市ＰＴＡ講演会でスマートフォン等について取り上げる等、これまでもＰＴＡ連合会の協力を得ながら、児童生徒のスマートフォン等の適正な使用について、学校、家庭、地域とともに考えてきた。

スマートフォン等の使用時間制限については、今後、児童生徒の健全育成の視点に立ち、関係各課と協議、検討の上、ＰＴＡ連合会等と話し合っていく。

質問　北環状線沿い拠点形成

質問　児童生徒のスマホ制限

やまぶき会　中原秀文　3

遊園と公園の管理一元化を

問　児童遊園の管理・整備をされている市民の方の苦労や市の専従の担当者が一人であることを鑑み、児童遊園と街区公園の管理を一元化とすべきでは。

答　都市計画部長　児童遊園を都市公園として市が管理することは、限られた予算や人員の中で、管理にかかる費用の急増、十分な管理が行き届かなくなるなどのおそれがあり、難しいと考える。一方で、自治会の方々も高齢化し、遊具の日常点検などの維持管理が難しい状況を考えると、今後は、様々な課題を公園整備課とこども育成課で検証した上で、管理業務を１つの課で行う一元化を含めて、慎重に検討していく。

質問　児童遊園と都市公園

質問　川越市駅周辺街づくり

質問　準用河川久保川

自由民主党　荻窪利充　4

教職員の管理体制の強化

問　学校は尊い人命を預かる場所。事故を未然に防ぐ為の管理体制は不十分ではないかと感じるが、今後どのような対応で周知徹底を図るのか。

答　学校教育部長　教育委員会としては、これまで通知文書や研修会等を通して、児童生徒の熱中症予防や健康安全に関する指導の徹底を図ってきた。

熱中症予防や健康に関する指導の徹底を図ることは、児童生徒の安全確保に向けて重要なことと捉えている。

教育委員会主催の研修会をさらに充実させるとともに、運動部の顧問に対しては、顧問が集まる会議で、具体的な資料に基づいた指導を実施し、教職員の危機管理体制と知識の向上を図っていく。

質問　健康に関する取り組み

自由民主党　岸啓祐　5

地域会議へ担当者の配置を

問　市内11の市民センター管内「地域会議」の運営支援策として担当者配置してはどうかを問う。

答　市民部長　地域づくりの推進に当たっては、地域と市の意思疎通、信頼関係の構築が重要であることから、市民センターに専任職員を配置し、地域の方々と活動を共にすることにより、相互理解が進み、地域と市との絆が更に深まるものと考えている。一方で、行政運営にかかる適正な定員管理の観点からも検討する必要があることから、今後も、地域の方々の意見を伺いながら、また、他市の事例を参考に、専任職員の配置を含めた地域活動支援をより効果的に推進できる体制について、関係部局と検討していく。

質問　地域会議の運営問題